三条市租税教育推進協議会長賞

税金は思いやり

三条市立大島中学校　三年　鹿島（かしま）　花衣（はなの）

世界で一番税金の高い国、デンマーク。消費税は二十五パーセント。所得税も四十から六十パーセントと給料の三分の一以上を占める。日本の消費税率十パーセントや所得税率五パーセントから四十五パーセント（課税所得金額に応じた税率）と比べると大きく違うことが分かる。しかし、世界幸福度ランキングでは二位になっているのだ。私は消費税が十パーセントに上がった時、正直少し嫌だった。実際に世の中でも増税について賛否が別れていた。だからこそ、デンマークの高い税金に対して高い幸福度が出ていることが疑問だった。そこで私はデンマークの税金について調べることにした。

デンマークでは、福祉や介護、医療を全て無料で受けることができ、育児や障害のある方の支援制度も充実している。特に医療費は億単位の治療費がかかった場合でも国が負担し、海外で手術する際も費用を出してくれるそうだ。また、デンマークに三年以上住んでいる人であれば全ての国民に年金が支給される。教育費は大学院まで無料。デンマークでは十八歳で成人すると全員が家を出て自立し、親に扶養義務がなくなる。そのため、十八歳以上の学生には月額約八万円の生活費が支給される。これらのこと全てが国民が納める税金を利用して実現されているのだ。

デンマークは税金を高くすることで国民の負担を大きく減らし、生活を楽にしている。そして国民もそれを理解しているからこそ、税金を納めることに不満はない。むしろ、喜んでしているのだから、幸福度が高いことも納得できる。日本でも医療や福祉、介護、年金などの社会保障。水道や道路、公園、空港などの整備の公共事業。教育費や宇宙開発、科学技術の研究費用。警察・消防費やごみ処理費用。この他にもたくさんのことに税金が使われている。もし、税金がなかったら、これらのこと全て自分で払う必要があるのだ。そう考えたら、消費税が少し高くなっても嫌ではない気がした。私は日々誰かが納めてくれた税金で勉強ができ、学校に通うことができている。病院でも少ない負担で診てもらうことができる。綺麗な水を毎日飲むことができる。そんな当たり前にもっと感謝しなければいけないと思った。私は税金があるからこそ、今、生活できていることに気づいた。税金のありがたさに気づくことで、税金を払ってでも幸せだと思えるようになると思う。だからこれからは、自分のためや誰かのためを想って快く税金を納めていきたい。そしていつか世界中の人々が誰かのことを思い合って税金を納め、使っていく未来になればいいなと思う。